

2022年1月11日

国立研究開発法人科学技術振興機構

Ver. 1.8

J-STAGE 公開プレビューチェックのポイント

概要

J-STAGE では電子化された科学技術刊行物の国内および、国際的流通を旨としているため、公開された記事の差し替えは行いません。一度公開された情報は、発信された時点の情報で流通し続けることとなるため、公開前の確認は慎重を期して行う必要があります。

本マニュアルでは、J-STAGE 公開前に必ず行う作業である「公開プレビューチェック」について、ポイントをまとめて記しています。

表示の誤りや修正すべき箇所が発見された場合は、速やかにデータ作成担当者に連絡の上、データファイルを修正して再度アップロードを行ってください。

<確認をはじめの前に>

- ・ 記事情報確認上 PDF ファイルが全ての基準となります。
まずは PDF を別ウィンドウで表示させるか、印刷して用意することをお勧めします。
- ・ なお、このマニュアルでは XML (BIB-J 形式・BIB-P 形式・FULL-J 形式・FULL-P 形式) の書誌情報ファイルを データファイル と呼びます。

Science and Technology Information Journal
 科学技術情報発信流通総合システムジャーナル
 Volume 10 Number 1 pp.2-7 (2008)

Original Article

学術論文誌インターネット公開の重要性
 -- J-STAGE Preview の場合 --

山田花子¹⁾、山本太郎²⁾、佐藤智^{1), 2)}

¹⁾ 独立行政法人科学技術振興機構
²⁾ J-STAGE センター

要旨

日本の科学技術研究を国際的なレベルに保ち発展させていくためには、優れた研究開発成果をいち早く世界に向けて発信していくことが重要です。そのためには、現在利用機関でおこなわれている紙の出版物としての学会誌、論文誌の発行を電子化し、インターネット上で公開していくことが重要です。

独立行政法人科学技術振興機構 (JST) が構築した「科学技術情報発信・流通総合システム」<J-STAGE> では利用機関の情報発信機能を支援するため、電子ジャーナル出版に必要なハードウェア・ソフトウェアを JST 内に用意し、24 時間年中無休で運用をおこないます。利用機関はそのハードウェア、ソフトウェアを利用して、現在発行中の学会誌、論文誌を容易に、かつ低コストで電子化できます。電子化した論文はこのシステムにより、世界中どこからでもアクセスできるようになります。

KEY WORDS : J-STAGE, www, Internet, Electronic Journal

1. J-STAGE の開発目的

科学技術情報の投稿から公開までの一貫した流れをインターネット上に構築することにより、科学技術情報の発信と流通の迅速化と国際化を図ります。

具体的な取り組みとして：

- * 学術雑誌の電子ジャーナル化を支援
- * 日本の科学技術情報の電子化を促進
- * 電子ジャーナルの特長を活かした科学技術情報の発信
- * インターネットによる科学技術情報流通の促進
- * 研究成果の迅速な発信・流通による国内外での研究評価の向上
- * 研究成果の迅速な発信・流通による研究開発の促進
- * 引用情報のリンクによる研究情報の効率的な利用

2. 沿革

科学技術振興事業団 (JST) は、科学技術情報の流通の業務を実施してきた日本科学技術情報センター (1957年8月設立) と基礎的研究、新技術開発と研究交流の促進等の業務を実施してきた新技術事業団 (1961年7月設立) が統合し、これまで両法人がすすめてきた事業を継承・発展させるとともに、科学技術基本法の成立 (1995年11月15日公布) を受け、科学技術振興のための基盤整備と先端的・独創的な研究開発の推進並びに科学技術理解増進事業の推進を目的として1996年10月1日に設立されました。

2003年10月より科学技術振興事業団は独立行政法人科学技術振興機構に移行しました。

参考：本文 PDF 画面

1. 巻号一覧画面

日本語の巻号一覧画面では下記の項目を確認します。

The screenshot shows the J-STAGE website interface for the 'Science and Technology Information Dissemination and Distribution System Journal'. The page title is '科学技術情報発信流通総合システムジャーナル' (Science and Technology Information Dissemination and Distribution System Journal), highlighted with a red box and circled number 1. The navigation menu includes '資料トップ', '巻号一覧', '特集号', and 'この資料について'. The search bar contains 'このジャーナル内を検索する' and '検索' button. The volume selection is set to '10 巻' and '1 号'. The main content area shows '10 巻, 1 号' and '選択された号の論文の3件中1~3を表示しています'. A list of articles is displayed, with the first article '学術論文誌インターネット公開の重要性' highlighted with a red box and circled number 3. Other highlighted items include the author '山田 花子, 山本 太郎, 佐藤 智' (4), the page number '2008 年 10 巻 1 号 p. 2-7' (5), the publication date '発行日: 2008/04/01' (6), the DOI 'https://doi.org/10.1241/xxxx.10.2' (7), and the download options '抄録を表示する' and 'PDF形式でダウンロード (864K)' (8).

図 1-1 日本語画面：巻号一覧

(1) 下記の項目が正しく表示されているか確認してください。

また、リンクが設定されている項目は、正しい画面に遷移するか確認してください。

- ① 資料タイトル
- ② セクション ※入力された場合のみ表示
- ③ 記事タイトル
- ④ 著者名
- ⑤ 発行年・巻・号・頁 ※公開後は修正ができません
- ⑥ 発行日
- ⑦ DOI ※公開後は修正ができません
- ⑧ 抄録、本文 PDF、※HTML 形式の全画面表示（※全文 XML 形式のみリンクを表示）

2. 書誌画面（書誌事項情報）

この画面では下記の項目を確認します。

① 科学技術情報発信流通総合システムジャーナル

資料トップ 巻号一覧 特集号 この資料について

J-STAGEトップ / 科学技術情報発信流通総合システムジャーナル / 10 巻 (2008) 1 号 / 書誌

② 原著

③ 学術論文誌インターネット公開の重要性と利点
-- J-STAGE Preview の場合 --

④ 山田 花子, 山本 太郎, 佐藤 智

☐ 著者情報

山田 花子
独立行政法人科学技術振興機構

山本 太郎
J-STAGEセンター

佐藤 智
独立行政法人科学技術振興機構
J-STAGEセンター

⑤ PDFをダウンロード (864K)

メタデータをダウンロード

☐ RIS形式
(EndNote、Reference Manager、ProCite、RefWorksとの互換性あり)

☐ BIB TEX形式
(BibDesk、LaTeXとの互換性あり)

☐ テキスト

ダウンロード方法

発行機関連絡先

⑦ キーワード: 科学技術 情報発信・流通総合システム, ワールドワイドウェブ, インターネット, 電子論文誌

ジャーナル フリー

⑧ 2008 年 10 巻 1 号 p. 2-7

⑨ DOI <https://doi.org/10.1241/xxxxx.10.2>

☐ 詳細

● 発行日: 2008/04/01	● 受付日: 2005/10/25
● 公開日: -	● 受理日: 2006/01/26
● [早期公開] 公開日: -	● 改訂日: 2005/12/01

⑩

図 2-1 日本語画面：書誌事項情報

下記の項目が正しく表示されているか確認してください。

また、リンクが設定されている項目は、正しい画面に遷移するか確認してください。

- ① 資料タイトル
- ② セクション ※入力された場合のみ表示
- ③ 記事タイトル・サブタイトル
- ④ 著者名
- ⑤ 本文 PDF、※HTML 形式のリンク（※全文 XML 形式のみ表示）
- ⑥ 所属機関名（著者情報の+ボタンをクリックし表示）
- ⑦ キーワード
- ⑧ 発行年・巻・号・頁 ※公開後は修正ができません
- ⑨ DOI ※公開後は修正ができません
- ⑩ 発行日・受付日・受理日・改訂日（詳細の+ボタンをクリックし表示）

3. 書誌画面（抄録、データリポジトリ、引用文献、関連文献、電子付録、著作権）

この画面では下記の項目を確認します。

なお、著作権以外は必須項目ではないため、設定された場合にのみ表示されます。

<p>記事の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> > 抄録 > Data Availability Statement (1) > 引用文献 (3) > 関連文献 (1) > 図 (1) > 著者関連情報 > 電子付録 (1) 	<p>⑪ 抄録</p> <p>日本の科学技術研究を国際的なレベルに保ち発展させていくためには優れた研究開発成果をいち早く世界に向けて発信していくことが重要です。そのためには、現在利用機関でおこなわれている紙の出版物としての学会誌、論文誌の発行を電子化し、インターネット上で公開していくことが重要です。独立行政法人科学技術振興機構（JST）が「科学技術情報発信・流通総合システム」<J-STAGE>では利用機関の情報発信機能を支援するため、電子ジャーナル出版に必要なハードウェア、ソフトウェアをJST、内に用意し24時間年中無休で運用を行います。利用機関はそのハードウェア、ソフトウェアを利用して現在発行中の学会誌・論文誌を容易に、かつ低コストで電子化できます。電子化した論文はこのシステムにより、世界中どこからでもアクセスできるようになります。</p>
	<p>⑫ データリポジトリ</p> <p>Data Availability Statementに記入した内容を反映します。</p> <p>1) データについての説明 🔗</p>
	<p>⑬ 引用文献 (3)</p> <p>1) Koichi FUKUDA, Hiromu SUGIYAMA, Kazuhide MIZOBATA and Liqun SUN: "Experimental Investigation on Flow Structure of Mach 4 Pseudo-Shock Wave in a Square Duct", TVSJ, Vol. 23 (2003), pp. 39-45.</p> <p>2) Masamoto Arakawa, Kiyoshi Hasegawa and Kimito Funatsu; "Selection of Bioactive Conformations and Alignment Rules by 4way PLS Analysis", J. Comput. Aided Chem., Vol. 1 (2000) pp. 1-7.</p> <p>3) Akira Nagai, Yoshinao Kano, Ryoza Funasaka and Katsuhiko Nakamuro; "Mutagenic Characteristics and Contribution of Polycyclic Aromatic Hydrocarbons to Mutagenicity of Concentrates from Municipal River Water by Blue Chitin Column", J. Health Sci., Vol. 48 (2002) pp. 232-241</p>

図 3-2 日本語画面：書誌情報

<p>記事の概要</p> <p>抄録</p> <p>Data Availability Statement (1)</p> <p>引用文献 (3)</p> <p>関連文献 (1)</p> <p>図 (1)</p> <p>著者関連情報</p> <p>電子付録 (1)</p>	<p>⑭ 関連文献 (1)</p> <p>関連文献のタイトル</p>
	<p>⑮ 図 (1)</p>  <p>著者関連情報</p>
	<p>⑯ 電子付録 (1)</p> <p>電子付録のタイトル Download (PDF)</p> <p>電子付録の説明</p>
	<p>⑰ © 2010 科学技術情報発信流通総合システム3</p>  <p>この記事はクリエイティブ・コモンズ [表示 4.0 国際]ライセンスの下に提供されています。 https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja</p>

図 3-3 日本語画面 : 書誌情報

下記の項目が正しく表示されているか確認してください。

また、リンクが設定されている項目は、正しい画面に遷移するか確認してください。

- ⑪抄録
- ⑫データリポジトリ
- ⑬引用文献
- ⑭関連文献
- ⑮図
- ⑯電子付録
- ⑰著作権

4. その他の確認

- (1) PDF をプレビュー表示し、PDF が正しいか確認してください。
- (2) 全文 XML 形式の場合は HTML で表示された全文情報の確認をしてください。

以上

プレビュー画面確認項目 チェックシート

	表示有無	チェック欄	
		英語画面	日本語画面
1. 巻号一覧画面			
資料タイトル	○		
巻・号	○		
発行年 (編集掲載システムで巻作成時に入力した情報)	○		
セクション	○		
記事数	○		
記事タイトル	○		
著者名	○		
頁	△		
論文番号	△		
発行日	○		
抄録	○		
PDF のリンク	○		
原稿種別	△		
分野	△		
全文 HTML のリンク	△		
2. 書誌画面			
資料タイトル	○		
巻・号・頁・論文番号	○		
発行年 (編集掲載システムで巻作成時に入力した情報)	○		
DOI	○		
セクション	○		
記事タイトル・サブタイトル	○		
著者名	○		
所属	○		
諸日付(公開日)	○		
抄録・キーワード	○		
PDF のリンク	○		
引用文献のリンク	○		
電子付録のリンク	△		
全文 HTML のリンク	△		
著作権表示	○		
エラータのリンク	△		
記事訂正内容	△		
引用文献数	○		
引用文献	○		
電子付録数	△		
電子付録の諸情報	△		

※補足

○...必ず表示される項目

△...表示しない場合がある項目